

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	La Maison Suite	階数	地上2F
建設地	泉佐野市りんくう往来北2番48	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2015年10月6日
敷地面積	6,772 m <sup>2</sup>	作成者	(株)吉村建築事務所 池田郁英
建築面積	2,833 m <sup>2</sup>	確認日	2015年10月7日
延床面積	3,305 m <sup>2</sup>	確認者	(株)吉村建築事務所 池田郁英



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
<p>・結婚式場にふさわしい清楚で透明感のあるファサードを目指し、敷地の特徴である海と空を感じられるようにアプローチ部の柱のブルーのタイルとしている。ガラス越しに見えるブルーを基調としたチャペルのスタンドグラスと調和している。</p> <p>・室内環境、敷地内環境、敷地外環境にそれぞれ配慮している。</p>	<p>・20%を超える外構緑化指数を確保している。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>・開口部遮音性能T-2と、遮音性に配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>・建物のコンセプト、内観パースの作成。</p> <p>・部品、部材の耐用年数に配慮している。</p> <p>・壁長さ比率に配慮しており、ゆとりのある空間を提供している。</p>	
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>・トップライトを採用し、自然エネルギーの活用にも努めている。</p> <p>・LED照明などの、高効率設備機器を採用している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>・節水型水栓、節水型便器の採用で、節水に配慮している。</p> <p>・建物のリサイクル性に配慮している。</p> <p>・防水工事のプライマー採用など、化学物質の使用削減に努めている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>・燃焼設備機器を採用しないなど、大気汚染防止に努めている。</p> <p>・光害対策が「ドライン」のチェックリスト、広告物照明における配慮事項の過半を満たすなど、光害の抑制に努めている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0056

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

<b>【建物概要】</b>		建物名称	La Maison Suite					
		建設地	泉佐野市りんくう往来北2番48					
		用途/区分	集会所					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
		LED照明の採用						
特に配慮した事項								